●いなみ野ため池ミュージアム これまでの歩み●

2002（平成14）年度

……県及び3市2町でいなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会設立

2003（平成15）年度

……「客員キュレーター」及び「ミュージアムインストラクター」創設

※現在「客員キュレーター」（地域づくりの指導・助言を行う学識者）は45人、「ミュージアムインストラクター」（得意な分野を生かしてイベントを支援する人材）は208人

……講座「いなみ野ため池学」開講（～H19）

2004（平成16）年度

……稲美町ため池協議会連絡会設立

2005（平成17）年度

……明石市、加古川市、高砂市、播磨町に「ため池協議会連絡会」設立

2006（平成18）年度

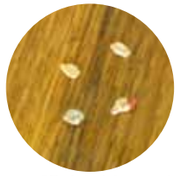
……いなみ野ため池ミュージアム運営協議会設立

※現在　ため池協議会75のほか実践活動団体、企業、行政等全103団体
自主運営ができる体制（組織・予算など）のあり方を含め体制整備を推進

……いなみ野パールプロジェクト始動

※概要：東播磨の在来種であるドブガイ（愛称：ぬばたま貝、淡水に生息する二枚貝）による淡水真珠づくりをシンボルとして、水辺環境の保全・再生や生物多様性の保全の取り組みを行う

ぬばたま貝放流


採取された淡水真珠

……全国ため池フォーラム開催（参加者約1,000人）

本フォーラム

エクスカーション

2007（平成19）年度

……水辺環境の保全・再生プログラムの実施（アサザ、オニバス保護等）

……インストラクター養成講座開催（～H21）

フィールドワーク

講座風景

2008（平成20）年度

……近代化を支えた“水の路”プロジェクト創設

2009（平成21）年度

……いなみ野ため池ミュージアム「オンリー1プロジェクト」の展開

※概要：周辺地域を含めて地形、歴史、文化などで特徴づけられる各ゾーン単位でテーマを設定し、展示資源の抽出・ネットワーク化により地域全体を博物館として演出

……“循環する水の路”プロジェクトスタート

……近代化を支えたプロジェクト“淡河川山田川疏水”の「記録誌」、郷土学習副読本「水をもとめて」作成

2010（平成22）年度

……全国疏水フォーラム開催（参加者約450人）

※概要：テーマ「水がつなぐ地域　疏水が結ぶ今昔」数多くのため池と水路網が一体となった水のネットワークを保全する取り組みを広く発信

……“循環する水の路”「里と海の協働による豊かな海の再生」プロジェクトの展開

※概要：かいぼり（池干し）により、里の栄養塩を海に送ることで、ため池の適正な維持管理に加えノリの色落ち対策等豊かな海の再生を図り、里と海の交流を行う

いなみ野の４つのゾーン

ゾーン名称	展開テーマ	事業・活動例
❶ 明石段丘	古代への誘い	・希少種「オニバス」の保全活動と観察会 ・オクワハン（神事） ・里と海の連携・協働 等
❷ 加古川扇状地	加古川の恵み	・新井用水の歴史と環境を学ぶウォーク ・竪穴住居復元プロジェクト
❸ いなみ野台地	近代化を支えた水の路「淡河川山田川疏水」	・淡河川・山田川疏水を辿るツアー ・希少種「アサザ」の保全活動 ・ウインドサーフィン体験会 等
❹ 里山・里池	生物多様性空間の保全	・ジュンサイまつり ・いなみ野竹採り物語（伐採竹有効活用） ・樋抜きの儀（神事）等
全域	水辺環境の保全	・クリーンキャンペーン ・かいぼり（池干し） ・生きもの学習会、観察会 ・レンコン掘り、ウォーキングイベント 等

2011（平成23）年度

……いなみ野ため池ミュージアムを核とした循環する水の路プロジェクト

※概要：先導プロジェクトの実施（里と海の協働による豊かな海の再生プロジェクト、いなみ野竹採り物語、いなみ野パールプロジェクトⅡ）

2012（平成24）年度

……いなみ野ため池ミュージアム10周年記念事業式典開催（参加者約500人）

※11月18日、兵庫大学にて開催
記念講演、学生の研究発表、ため池協議会の活動報告などを実施

10周年記念ロゴマーク

記念講演

2013（平成25）年度

……第15回「日本水大賞」農林水産大臣賞受賞

※農業関係者だけでなく、地域住民の力を結集した活動が高く評価され、農林水産大臣賞を受賞。
7月2日に表彰式・受賞活動発表会が日本科学未来館（東京都江東区）で開催
＜日本水大賞＞事務局：（社）日本河川協会
安全でおいしく、きれいな水にあふれる日本と地球をめざし、水循環系の健全化に貢献した活動を顕彰する。

「日本水大賞」農林水産大臣賞授賞式

2015（平成27）年度

……いなみ野ため池ミュージアム推進フォーラム「次代につなぐ『ため池』フォーラムin東播磨」開催（参加者約1,300人）

※11月2日、加古川市民会館大ホールにて開催
県「ため池の保全等に関する条例」の改正を受け、今後、市町の地域性を踏まえた「ため池保全策」の具体化や新たなミュージアム展開に向けて、東播磨の市町長をはじめ関係者の方々と共に考えていく場としてフォーラムを実施

市町長を交えた座談会

2016（平成28）年度

……ため池コウノトリプロジェクト始動

※「ため池群と水路網」を核とした地域主体の生息環境づくりや餌場の確保のためのかいぼりをリレー方式で進めるなど、コウノトリが日常的に見られる東播磨地域の実現をめざし「ため池」の魅力である生態系の再生を促進し、人と自然の共生する地域づくりや地域活性化を推進する

水田魚道（高砂市阿弥陀町）